

～それぞれの曲のストーリー～

♪【キリストを世界へ】

伊藤 雄基

この曲は、今回のこのCDを作るにあたってビジョンから確信へと変わった印でもありました。

このCDは、最初から計画して始まったものではなく、それぞれが神様に与えられた賛美を集めて、一致して一つの作品として作り上げていきました。そして「テーマとなるタイトル曲を作ろう」ということになり、一致して一つのCDを作るという目的のために作られた曲でもあります。

それと同時に、このCDはCFNJ聖書学院から出すと言う事でしたので、学院を代表する賛美、校歌のような曲になればいいなと思いました。

CFNJとは、Christ For the Nations Japanの略ですので、名前通り「キリストを世界へ」と言う曲を作ろう、ということになりました。作曲した三人は好きな音楽スタイルもジャンルもあんまり似ていなかったのが一致して作れるかどうか心配だったのですが、いざ集まってみるとスムーズに進み、2時間程度で出来上がってしまいました。

そしてこれをみんなで歌ったときすごくみな一致するのを感じ、聞いた学院長である鍛冶川先生も感動してくださり、その場でこの曲を校歌として認定してくださいました。ハレルヤ！

なので、この曲が生まれたことは、私たちが一致してこのプログラムをすると言う事のゴーサインとなり、確信と平安が与えられるきっかけとなりました。

♪【主の栄光のため生かしてください】

大木 隆弘

この曲は自分の事を愛せなかった私を、主は深く愛してくれている、その事を気づかせてくれた時にヨハネ9章の盲目の男とヨハネ11-12章のラザロの生き方が思いに与えられました。盲目の男やラザロが辛い体験をしましたが、その後には生きているだけでイエス様を証する者になったように、自分の存在も主の栄光のため生かしてほしいです。と告白した賛美です。

♪【よみがえられたいのち】

大木 隆弘

この曲は私にとって初めて与えられた賛美です。ヨハネ11:25のみことばが与えられました。

「イエスは言われた。「わたしは、よみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は、死んでも生きるのです。また、生きていてわたしを信じる者は、決して死ぬことはありません。このことを信じますか。」

十字架の死からよみがえられた主と共に死と復活を通り、新しいいのちに生かされている事、感謝します。

♪【どんなものも】

鈴木 百合香

この曲は、私が職場で試練に遭っていた時に与えられた曲です。仕事に行くのが苦しかった時、電車を待つ駅のホームで、この曲とローマ書8:38,9のみことばが与えられました。

「私はこう確信しています。死も、いのちも、御使いも、権威ある者も、今あるものも、後に来るものも、力ある者も、高さも、深さも、そのほかのどんな被造物も、私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から、私たちを引き離すことはできません。」

神様は試練を通して私の信仰を強め、心を広くして人を愛することができるようにして下さいました。神様の愛は何よりも大きく、すべてに勝り、このみことばの通り、どんなものも私たちを引き離すことは出来ません！

♪【子羊主イエス】

鈴木 百合香

この曲はある日寝ている時に、夢の中で母と賛美している映像と共に与えられました。夢の中で母と賛美をしていて、そこで歌っていたのがこの曲でした。レコーディングでは学院のお友達が一緒に歌ってくださり、神様の慰めと平安が満ちる曲に仕上げてくださいました。心から感謝しています！

♪【いつまでも】

金 南美

2020年9月に、メキシコ人の Alma 先生の講義「聖霊論」の授業を受けました。

先生は5人一組にして賛美を作るように課題を出しました。そして集められた私達5人は、聖霊様が私達をチームとして用いてくださることを信じて曲を作るようになりました。

そして1週間に1回全員集まること、1週間聖霊様のタイトルで御言葉を黙想しながら与えられたものを、皆と分かち合うことを決めました。

そして最初に集まった時、皆がだいたい同じ箇所の御言葉を持ってきていて、その場で曲を作りあげることが出来ました。

3週間ほどで曲は完成し、一回先生に見せました。しかし、先生は100%聖霊について歌った曲を願ったので、新しくもう一曲作る事にしました。

しかし私達5人は、最初作った曲に愛着があって何度も集まる時に、この賛美で心が満たされました。私自身も人生初めて歌詞が与えられ、曲に入れたものでしたので、あまりにも感謝な賛美となりました。

♪【恵みとまことなるイエス・キリスト】

大木 隆弘

この曲はヨハネ1章のみことばを味わっていた時にヨハネ 1:17 がその箇所だけ聖書から浮き上がっていくような感覚で、そのままメロディも与えられました。**“恵みとまことはイエス・キリストによって実現したからである。”**

栄光の主がどこまでもへりくだり十字架の死を通してくださり、罪赦され、贖われ、神の子とされ、今いのちに生かされている事、感謝します。

♪【心のドアを開けて】伊藤 雄基

この曲は、2021年にCFNJ 聖書学院のクリスマス会で披露された「雪のたから～心のドアを開けて～(ミュージカルドラマ)」のために作られたテーマソングです。このストーリーは、登場人物達が、心のドアを開けてイエス様を迎え入れた時に、神様の愛と許しを受け取っていくお話でした。なので、心のドアを開ける歌にしたいなと思っていました。

そしてわたしが、バイトの帰り道、さわやかな風の吹く夜道を自転車で帰宅していた時に、ふとサビのメロディが与えられました。

十字架にかかって下さり、私たちに赦しと癒し、そして解放を与えて下さったイエス様に心から感謝を捧げます。



CFNJ students Worship 1st Album

『キリストを世界へ』

CDを購入希望の方は、CFNJ 聖書学院の事務所まで

